

老朽化消火器に係る破裂事故の発生状況

■主な事故の類型

○事故の類型として最も多い内容



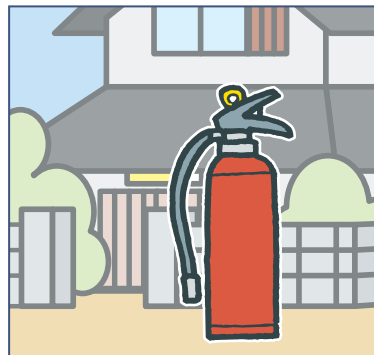
経年に伴い本体容器 (特に底部)
が腐食して強度低下。

(通常は圧力のかかっていない)
加圧式の消火器において、放射
操作に伴い本体容器内の圧力が
急激に上昇し破裂。[※]

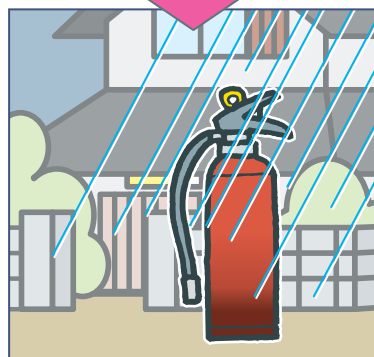
**消火器の
操作者が受傷**

住宅、野外等で放置されていたも
のが多い模様です。

(イメージ)



屋外や軒下等腐食しやすい環境に
消火器を放置。



経年に伴い、本体容器の腐食が進行。



廃棄時等の放射操作に伴い、本体
容器内の圧力が急激に上昇。

容器 (特に底部) が圧力に耐え切れ
ず破裂。

※蓄圧式でも、腐食による強度低下等と相まって、廃棄処理時の過度の応力や衝撃により破裂する事例が散見されます。

※消防庁予防課 事務連絡 平成23年10月11日 参考